

第 14 回釜山国際観光展の開催

ソウル事務所

1 韓国釜山での観光展の開催

2011 年 9 月 2 日（金）から 5 日（月）まで、韓国釜山市の BEXCO（釜山展示・コンベンションセンター）において、「第 14 回釜山国際観光展」が開催されました。この観光展には、日本を含む世界 36 カ国、230 の団体や企業が出展しました。



開催会場の BEXCO

世界各地から出展されたブースにおいては、それぞれ工夫を凝らしたゲームやイベント等を通じて参加・体験型の情報発信を行い、4 日間の観光展期間中には総計 89,706 名の来場者がありました。

今回のイベントでは、日本からも JNTO（日本政府観光局）をはじめ、北東北三県・北海道ソウル事務所、静岡県ソウル事務所、奈良県等自治体関係を含む 18 の団体や企業が出展し、それぞれ日本の魅力を PR しました。特に今年度の観光展においては、震災後の日本に対する漠然とした不安を払拭してもらおうという意味合いも強く、各出展者とも一生懸命、日本の PR に努めました。

クリアソウル職員も出展自治体の活動支援依頼を受け、ブースのサポート要員として参加し、一緒に日本の PR をする機会を得ました。

2 来場者の反応

金曜日は幼稚園児、土曜日は高校生の校外授業、日曜日は家族連れ等、曜日により来場客層に変化がありましたが、日本の出展エリアを訪れた来場者からは、総じて日本への強い関心を感じました。

来場者の中には日本に何度も行ったことがあるという方もいらっしゃり、日本旅行経験者は皆さん、また行きたいという気持ちをお持ちのようでした。



有名なアニメキャラクターのフィギアを展示するなどして、人気を博した JNTO ブース



高台寺（京都）ブースでは、おみくじでプレゼントを進呈



せんとくん（奈良県）は幼稚園児に大人気



わさびせんべいの試食（静岡県）



幼稚園児の行列（福岡観光コンベンション協会）

もっとも、それほど多くはなかったものの、来場者の中には日本へ行くことに対して放射能が心配だという方も依然としていらっしゃいました。

最近では韓国内における日本の放射能に関する報道も下火になってきていることもあって、以前に比べて日本に対する根拠のない不安は薄れてきているように感じますが、今後も日本の魅力とともに安全性も、積極的に伝えるよう努めなければならないと感じました。

3 韓国第二の中心である釜山におけるPRの重要性

ソウルやその近郊で行われる旅行博等に出展して PR する動きは日本の自治体でも多い

のですが、日本と歴史的に縁が深く、人口 340 万人を数える韓国第二の大都市である釜山（釜山を中心とする韓国東南経済圏全体では人口約 760 万人）も大きな市場です。ソウルに比べれば日本との直行便は少ない等といった交通アクセス上の課題はあるものの、日本への誘客という観点から、首都圏ばかりではなく釜山においても日本各地の魅力を発信することは重要と思われま

(中村所長補佐 静岡県派遣)

